

第1期 国分寺市公民館運営審議会 平成28年度第18回定例会 要点記録

日時 平成29年2月21日(火) 午後2時～4時30分

場所 国分寺市立本多公民館 講座室

出席者

委員 佐藤委員長・田中(英)副委員長・門委員・長谷部委員・橋本委員・萩原委員・戸澤委員・大澤委員・北邑委員・田中(雅)委員(欠席委員1人)

職員 山崎公民館課長兼本多公民館長・秋元恋ヶ窪公民館長・加藤光公民館長・本望並木公民館長・齋藤本多公民館事業係長・木場主任

1 連絡事項

(1) 配布資料確認

(2) 第17回定例会要点記録→事前にお送りしている。委員から修正の連絡があったため、次回までに修正し再度配布する。

2 報告事項

(1) 平成29年国分寺市教育委員会第1回定例会, 第1回・第2回臨時会について

事務局：第1回定例会において国分寺市公民館使用条例の一部改正を審議。その他、国分寺市図書館運営協議会への諮問、国分寺市スポーツ振興計画(案)への意見、給食のアウトソーシング実施計画のこと、いじめに関する調査結果、第1回臨時会において平成29年度当初予算案、プレイステーションの指定管理者の指定、第2回臨時会において第3次国分寺市特別支援教育基本計画(義務教育時)の策定について審議。平成29年度の予算案で、本多公民館エレベーター改修工事、並木公民館・図書館空調設備改修工事の予算を提出している。

(2) 平成28年度第2回総合教育会議について

事務局：2月7日に開催。歴史遺産を活かした国分寺市の魅力を高める取組について協議。

(3) 国分寺市ビジョンについて

事務局：資料3に基づき説明。

委員長：これは決定したものか。

事務局：平成28年12月議会において決定した。

委員長：国分寺市教育ビジョンがかなり反映されているようだ。

委員：公民館運営サポート会議でも報告はあるか。

事務局：次回の各館の公民館運営サポート会議で報告予定。

(4) 平成29年国分寺市議会第1回定例会

事務局：資料4に基づき説明。

委員長：文化芸術の「史跡発掘ボランティア」は公民館とは関係ないのか。

事務局：ふるさと文化財課が担当しており、公民館は関わっていない。

委員長：文化講座などに取り組んでいるが、講座の連携はしていないのか。

事務局：ふるさと文化財課の文化財保護審議会委員で東大教授の佐藤信先生に歴史講座の講師をお願いするなど、相談し深く連携している。

委員長：国分寺市ビジョンはこれだけのものか。

事務局：国分寺市ビジョンは基本理念。その下に実行計画がある。

事務局：1月にあった閉会中の文教子ども委員会では、教育委員会についての議案・報告事項はなし。

(5) 国分寺市公民館使用条例の一部改正及び国分寺市公民館使用条例施行規則(案)の策定について

事務局：資料5・資料6に基づき説明。条例の一部改正は第1回定例市議会2月24日の文教子ども委員会で審議。議案可決後、3月23日の教育委員会定例会で施行規則の制定について審議する予定。

副委員長：条例の一本化の話は進んでいるのか。

事務局：公民館の二つの条例の一本化については検討しているが、まだ一本化できていない。公民館運営審議会の統合の条例改正時に一本化を考えたができなかった。今回は使用許可に関する権限をより明確化するための必要最低限の文言修正と、様式の削除の改正になっている。

(6) 施設予約システムについて

事務局：資料7に基づき説明。

(7) 複写機・印刷機利用基準の改正について

事務局：資料8に基づき説明。

3 協議事項

(1) 答申について

委員長：資料2に基づき説明。ワーキンググループごとに論理構成していったらいいと思う。公民館運営審議会是一本化されたが、5つの公民館には公民館運営サポート会議があり、それぞれの公民館ごとに地域性や特徴がある。各館の公民館運営サポート会議ごとの提言を載せることに意義がある。公民館運営サポート会議のⅢ章には、ワーキンググループのⅡ章で事業について詳しく書いてあるものもあるので、Ⅲ章は各館の独自性のものや、公民館運営サポート会議のこれからの方向性を書いてほしい。節立てをしてリライトしてほしい。資料1については、このまま公民館で保存していく。答申は本文と資料に分けて文章化していく。

委員：リライトを誰がするかまで決めたい。

委員：資料1をそのまま答申として出すわけにはいかないが、全市の公民館の事業が集約されたことは素晴らしいこと。今後の公民館運営審議会の委員にも伝えていけるようにしてほしい。

委員：公民館運営サポート会議委員にも配られるようにしてほしい。

委員長：リライトする際には、どこの公民館の事業なのかわかるように固有名詞を載せてわかりやすく明記するようにしてほしい。また、柱立てが大切。

柱立て、節立てで決まるといっても過言ではない。

委員：答申としてまとめるのは難しい作業。削除してしまい抜け落ちることがないように残せるようにしてほしい。

委員：重複しているところを削除していきたい。エピソードを減らしていきたい。

委員：ワーキンググループ第1グループの橋本委員の文章は、共通認識として大切だと思うので入れてほしい。

委員長：ワーキンググループ第1グループに入れることができると思う。重複のところは調整する。

委員：13ポイントのフォントの大きさは設定できるのか。

事務局：設定できる。

委員：小見出しの作り方がポイントになると思う。後は集約すれば良い。文章量を半分にするのは難しい。サポート会議の文章は、地域に促した提言や要望にすればよいのか。

委員長：各公民館の独自性、自立性を学校区の地区レベルで重要と考えた時、公民館の運営についてはそれぞれ違う展開になると思うので、はっきり認識できるように書いてほしい。

委員：まだ、公民館運営サポート会議は定着していない。課題が単発的にあるが、それぞれの公民館運営サポート会議ごとに書くのでいいと思う。

委員長：どういう地域づくりをしていくかを関連付けて、キーワードで書けないか。公民館があることで、どう地域づくりができるか。公民館運営サポート会議については、会議の内容を聞いてないので、手直しが難しい。

委員：橋本委員の文章はどこに入れるのがいいか。

委員長：「はじめに」にも抜粋し、ワーキンググループの文章の前に入れたい。ワーキンググループ第1にも入れられるかと思う。

委員：重複したところを絞っていき、両方で抜け落ちてしまったということがないようにまとめないと。

委員長：文章を半分にしてほしいというのは、ただ分量を半分にではなく、エッセンスを取り出すということであり、中身にあったものにしてほしい。

委員：表現方法が大事。資料を資料編に持っていきのはいいが、本文で触れないとわからない文章になってしまうので、本文でも触れるようにしてほしい。

委員：これだけの公民館の活動を、全市的に統一したもので見られるということは財産。文体を合わせるなどの作業はします。

委員：新しい公民館運営サポート会議の委員や公民館運営審議会の委員への資料としてほしい。

委員：フォーマットを揃えたり、文章修正をしてから整理していく。

事務局：公民館運営審議会の資料としてまとめることができると思う。はじめから資料編までで60ページぐらいの答申にしてもらいたい。

リライト責任者⇒WG 1：戸澤委員

WG 2：長谷部委員，田中委員

WG 3：大澤委員

WG 4 : 長谷部委員

WG 5 : 萩原委員

WG 6 : 田中委員, 橋本委員

公民館運営サポート会議のまとめについても, 3月15日までにサポート会議で話し合っまとめ, リライトして事務局まで提出していただきたい。

4 その他

(1) 東京都公民館連絡協議会館長部会について

事務局 : 平成29年2月16日に国立市公民館で開催された研修の報告。公民館における政治に関する学習・活動団体の利用と, チラシ等の配架について。

(2) その他

事務局 : 公民館職員の研修として「認知症サポーター養成講座」を実施。課内で22人が受講し, 認知症サポーターになった。

事務局 : 3月3日に実施する管外研修について, 水谷公民館最寄駅のみずほ台駅に11時集合。国分寺市の方は西国分寺駅で集合する時間を後日連絡する。

委員長 : 次回は3月21日(火)午前10時~12時, 講座室にて開催する。以上で本日は終了する。